

Ⅱ－1

本人プロフィール

(スマイルプラン「プロフィール」代用可)

本人氏名	フリガナ イチ カワ タ ロウ	男・女	血液型	A B O <u>AB</u> (Rh <u>+</u> -)			
	市川 太郎		生年月日	<u>昭和</u> <u>平成</u> 15 年 4 月 22 日			
現住所	[〒 272 - ××××] 市川市〇〇3丁目4-5-305 一戸建て 集合住宅 (エレベーター (有)・無)						
電話番号	(自宅) () (携帯) 080 (××××) 1234 [続柄 母]		緊急連絡先 (携帯・職場等)	連絡先 電話番号 080 (××××) 5678 [続柄 父]			
家族構成	氏名	続柄	年齢	生年月日	職業	同居	備考 (健康状態等)
	市川 一郎	父	45	昭和46年 5 月 6 日	会社員	<u>同</u> 別	糖尿病 内服治療中
	市川 花子	母	38	昭和54年 8 月 20日	パート	<u>同</u> 別	
	市川 松夫	兄	20	平成8 年 6 月 13日	無職	<u>同</u> 別	
				年 月 日		同・別	
				年 月 日		同・別	
履歴	所属機関		所属名			備考 (内容・頻度等)	
所属歴・就職歴	昭和・ <u>平成</u> 18 年 4 月～ 昭和・ <u>平成</u> 20 年 3 月		市川市立本ハ幡幼稚園				
	昭和・ <u>平成</u> 20 年 4 月～ 昭和・ <u>平成</u> 23 年 3 月		市川市立本ハ幡小学校 通常級				
	昭和・ <u>平成</u> 23 年 4 月～ 昭和・ <u>平成</u> 26 年 3 月		市川市立本ハ幡小学校 あおぞら学級 (特別支援学級)				
	昭和・ <u>平成</u> 26 年 4 月～ 昭和・ <u>平成</u> 28 年 3 月		市川市立本ハ幡特別支援学校				
	昭和・ <u>平成</u> 28 年 4 月～ 昭和・平成 年 月		〇〇会社 アルバイト			ポスティング 週3日	
	昭和・平成 年 月～ 昭和・平成 年 月						
備考							

Ⅱ-2

サポート 一覧

(スマイルプラン「支援関係」代用可)



家族や友人からの支援

名 前	続 柄	連絡先 (住所・電話番号)	
市 川 一 郎	父	市川市〇〇3丁目4-5-305	()
市 川 花 子	母	市川市〇〇3丁目4-5-305	()
市 川 松 夫	兄	市川市〇〇3丁目4-5-305	()
市 川 ば ら	祖母	市川市〇〇3丁目4-5-305	()
北大野 梨子	友人 近所	市川市〇〇3丁目2-3	()
東行徳 のり子	友人 兄の同級生	市川市△△町1丁目2-23	()



医療に関する支援

機関名 (主治医)	利用項目 (利用期間)	連絡先 (住所・電話番号)	
〇〇病院 (□□先生)	小児科・発達フォロー (出生時～)	市川市▽▽▽2丁目4-6	()
□□□病院 (△△先生)	脳神経科・てんかん治療 (5歳～)		()
保健センター (□□保健師)	相談 (新生児期～)		()
〇〇〇〇	訪問看護 (平成〇〇年〇月～)		()
□□□□	訪問リハビリ (平成〇〇年〇月～)		()
			()



生活・福祉に関する支援

機関名 (担当者)	支援項目 (利用期間)	連絡先 (住所・電話番号)	
〇〇デイサービス	放課後等デイサービス (個別指導)水曜 1/週 (平成〇〇年〇月～)	市川市〇〇〇1丁目3-9	()
〇〇クラブ	放課後等デイサービス (集団指導)月・金曜 2/週 (平成〇〇年〇月～)	市川市□□□2丁目1-1	()
サポート〇〇 (□□さん)	障害児相談支援 (平成〇〇年〇月～)	市川市◇◇◇3丁目6-9	()
			()
			()
			()



余暇・学習・療育に関する支援

機関名 (担当者)	支援項目 (利用期間)	連絡先 (住所・電話番号)	
〇〇教室 (〇〇心理士)	心理個別療育 グループ療育 (3歳～5歳)		()
〇〇スイミング	体力づくり		()
教育センター	就学相談 就学时		()
			()
			()
			()

記載年月日 年 月 日

記載者

続 柄

II-3

出生から乳幼児期の記録

(予防接種・健康診査等)

※母子手帳に記載があり、持参可能な場合は記載をしなくても良いです。
一度記入しておくと、必要な機関にコピーを渡すことができます。

1. 出生の状況

妊娠中の健康状態	良 好 その他（		
妊 娠 週 数	40 週	〇〇産院	
出 生 体 重	3000 g	身 長	50 cm
胸 囲	cm	頭 囲	cm
分 娩 状 況	経膈分娩 帝王切開 その他（		
児 の 出 生 状 況	問題なし	仮 死	黄疸 光線療法 その他
新生児聴力検査	問題なし 再検査後問題なし 経過観察 未検査		
特 記 事 項			

2. 乳幼児期の状況

運 動 発 達	首すわり	寝 返 り	お 座 り	ハイハイ	始 歩
	歳 4 ヶ月	歳 5 ヶ月	歳 7 ヶ月	歳10 ヶ月	1 歳 2 ヶ月
哺 乳 状 況	(母 乳) 混 合 人 工		哺 乳 力	(普 通) その他 ()	
始 語	歳 ヶ月				
特 記 事 項	発語がなく、1歳6か月健診のときに保健センターに相談する。				

3. 予防接種の状況

種 類	実 施 日				
ヒブワクチン	未接種	①	②	③	追加
		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
肺炎球菌ワクチン	未接種	①	②	③	追加
		年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
四種混合(ポリ・三種混合)	未接種	①	②	③	追加
		H24年 8 月 日	H24年 9 月 日	H24年10月 日	H25年 8 月 日
B C G	未接種				
		H24年 9 月28日			
MRワクチン	未接種	①	②		
		H25年 5 月28日	年 月 日		
みずぼうそう(水痘)	未接種	①	②		
		H25年 5 月28日	年 月 日		
日本脳炎	未接種	①	②	追加	
		H27年 6 月 日	H27年 7 月 日	年 月 日	
おたふくかぜ	未接種				
		年 月 日	年 月 日		
B 型肝炎	未接種				
		年 月 日	年 月 日		
その他()					

4. 健康診査の状況

健 康 診 査	実 施 日	実 施 場 所	備 考
乳 児 健 康 診 査 (3～6か月児)	平成 24 年 8 月 日 (3 か月 日)	〇〇医院	
乳 児 健 康 診 査 (9～11か月児)	平成 25 年 3 月 日 (10 か月 日)	〇〇医院	
1歳6か月児健康診査 (内 科)	平成 25 年 11 月 日	〇〇医院	
1歳6か月児健康診査 (集 団)	平成 25 年 11 月 日	保健センター	
3 歳 児 健 康 診 査	平成 年 月 日		

日にちまで不明な場合は、分かる
範囲で記入してください。

※該当する箇所に○をつけてください。

	現 状	特 徴（得意・配慮点）
基 本 的 生 活 習 慣	食 事 <	

	現 状	特徴（好きなこと・配慮点）
言語・コミュニケーション	言語表出 ・ことばで伝えることができる（文章）2～3語文、単語） ・文章でやりとりができるが、発音が聞き取りにくい ・手話や筆談、身振り等で伝えることができる ・発声のみで発語は無い	ことばの理解はあるが、抽象的な表現だと、指示されていることをイメージすることが苦手なので、文字や写真等で伝え具体的にイメージできると理解できる。 説明の一部のみに反応して早合点して取り組みやすい。必要に応じて個別に短いフレーズで声をかける。やるべきことや注目すべきことを板書等の文字に残しておく、自分で確認することが出来る。
	言語理解 ・ことばで理解できる（文章）2～3語文、単語） ・手話や筆談等で理解することができる ○視覚的な配慮（カード、写真、身振り、サイン等）があれば理解できる	
	一斉指示の理解 ・ことばでの全体への指示を聞いて一緒に行動できる ○個別への声かけや支援が必要	
	こまった時の援助要求	
集団参加・コミュニケーション	やりとり ・相手の意図を汲み取り、やりとりできる ・思ったことをそのままことばに出し相手に伝える ○話が一方的になりやすい	他者のペースや状況に合わせてやりとりをすることは不得手だが、人と関わるのが好きだったり、やりとりを楽しめる強みを持っている。 楽しいことに夢中になってしまうと、そのことを話し出したりしてしまうが、やることをスケジュールで確認できたり、前日からスケジュールを予告しておく、少しの声かけで話をやめることができる。 パーティションがあるような場所では、周囲を気にせず、離席せずに集中して取り組むことが出来る。 臨機応変に対応することは苦手だが、言われたことば通りに忠実に行動するまじめさがある。
	活動への参加 ・活動の流れを理解し、自分から参加できる ・他の人の様子をみながら、一緒に行動しようとする ○刺激に反応しやすく、興奮しやすいため、集中することが苦手 ・はじめての活動や、急な活動の変更は苦手 ・活動内容の興味の有無で、参加が異なる	
	約 束 ○ルールを守って行動する ・あらかじめ予定やルールを確認すると守ろうとする ・自分の思いを優先し、約束を守りづらい	
	対人関係 ○誰とでも仲良く過ごせる ・人との関わりに苦手さがある ・マイペース	
行動・感覚などの特徴	好きな教科（学習） 数字やアルファベットが好き 答えがはっきりしている教科を好む	タブレット操作が得意。 集中するとご飯も食べずに操作している。 アラームなどで、時間を教えてあげると終了できる。 気持ちが立て直せなくなったら、クールダウンする場所を本人と確認しておく、落ち着いてから自分でクラスに戻る事ができる。
	感覚の特徴 ○過敏（掃除機の音やドライヤーの音が嫌い） ・鈍麻（）	
	行動などの特徴（こだわっている行動、物等） 出来ないことがある時など、時折チック症状（咳ばらい、肩を動かす）が見られる。注意したり不用な言葉がけは避け、やることや玩具を視覚的に提示し、注目する対象を他の物に移すように促している。	
	パニックを起こしやすい環境 他者から間違いを指摘されると、怒って攻撃的になる。	

記載年月日 年 月 日

記載者

続柄

障害者手帳	種類	所持	障害程度	手帳番号	交付(判定)年月日	次回更新
	身体障害者手帳	☒ 有・ ☐ 無	1種 1級	〇〇〇〇号	平成〇〇年〇月〇日	再認定: 平成〇年〇月
	☐ 視覚障害 ☐ 聴覚又は平行機能障害 ☐ 音声機能、言語機能そしゃく機能障害 ☒ 肢体不自由(上肢機能 ☐ 下肢機能 ☐ 体幹機能 乳幼児期以前の運動機能) ☐ 心臓機能障害 ☐ じん臓機能障害 ☐ 呼吸器機能障害 ☐ ぼうこう又は直腸の機能障害 ☐ 小腸機能障害 ☐ ヒト免疫不全ウィルスによる免疫機能障害 ☐ 肝臓機能障害					
	療育手帳	☒ 有・ ☐ 無	A	〇〇〇〇号	平成〇〇年〇月〇日	次の判定: 平成〇年〇月
	精神障害者保健福祉手帳	有・ ☒ 無	級	号		有効期間
受給者証	種別	名称				
	障害児通所支援	☐ 児童発達支援 ☐ 医療型児童発達支援 ☒ 放課後等デイサービス ☐ 保育所等訪問支援				
	地域生活支援事業	☐ 移動支援事業 ☒ 日中一時支援事業 ☐ 訪問入浴サービス事業 ☐ 地域活動支援サービス				
	障害福祉サービス	☒ 居宅介護 ☐ 重度訪問介護 ☐ 同行援護 ☐ 行動援護 ☐ 療養介護 ☒ 生活介護 ☒ 短期入所(ショートステイ) ☐ 重度障害者等包括支援 ☐ 施設入所支援 ☐ 自立訓練(機能訓練) ☐ 自立訓練(生活訓練) ☐ 就労移行支援 ☐ 就労継続支援(A型) ☐ 就労継続支援(B型) ☐ 共同生活援助(グループホーム)				
	各種相談支援	☒ 障害児相談支援 ☐ 計画相談支援 ☐ 地域移行支援 ☐ 地域定着支援				
障害区分	☐ 区分なし ☐ 小児区分1 ☐ 小児区分2 ☐ 小児区分3 ☒ 重心					
	☐ 区分なし・非該当 ☐ 区分1 ☐ 区分2 ☐ 区分3 ☐ 区分4 ☐ 区分5 ☐ 区分6					
保険	☒ 国民健康保険 ☐ 後期高齢者医療 ☐ 社会保険 ☐ 生活保護 ☐ その他()					
助成・手当	障害者医療	☐ 自立支援医療(更生医療) ☒ 自立支援医療(育成医療) ☒ 重度心身障害者(児)医療費助成 ☐ 自立支援医療(精神通院) ☐ 精神障害者入院医療費助成 ☐ 千葉県小児慢性特定疾病医療受給者証 ☐ 千葉県特定医療費(指定難病)受給者証				
	年金	☐ 障害基礎年金(級) ☐ 障害厚生(共済)年金(級) ☐ 特別障害給付金 ☐ 千葉県心身障害者扶養年金				
	手当	☐ 特別障害者手当 ☐ 市川市重度障害者福祉手当 ☐ 市川市ねたきり身体障害者等介護手当 ☒ 障害児福祉手当 ☐ 市川市心身障害児福祉手当 ☒ 特別児童扶養手当(級) ☐ 市川市難病患者等福祉手当				
その他	☐ 訪問看護 ☐ デイケア ☐ 訪問リハビリ ☐ その他()					

補装具交付(修理)・日常生活用具給付の履歴

[illegible]

記載年月日 年 月 日

記載者

続 柄

１．病歴

	年 月 日	診 断 名	医療機関	現 況
①	平成 〇〇年 4月〇〇日	髄膜炎による脳症	〇〇病院（000－0000） 脳神経科〇〇先生担当	完治・治療中・経過観察 療養中・その他（ ）
②	平成 〇〇年 4月〇〇日	髄膜炎後、水頭症 による後障害	同上	完治・治療中・経過観察 療養中・その他（ ）
③	平成 〇〇年 4月〇〇日	てんかん	同上	完治・治療中・経過観察 療養中・その他（ ）
④	平成 〇〇年 12月〇〇日	肺炎	〇〇病院（000－0000） 呼吸器科□□先生担当	完治・治療中・経過観察 療養中・その他（ ）

２．特記する診断までの流れ（よく聞かれる病歴の流れ）

病歴の 番 号	時期	相 談 先 医 療 機 関 先	内 容
①	5歳春	△△病院 入院	5歳児の春に2日間発熱が続いたのち、けいれん発作を起こし、意識混濁。救急搬送にて△△病院に入院する。当日のMRIでは異常がなかったが、意識回復が不良。入院後2日目にして呼吸抑制も起こし、人工呼吸器管理となる。 骨髓液検査にて、髄膜炎と診断。その影響にて、脳も炎症を起こしていることで、意識レベルが下がる。伸展性の発作も頻回に起こす。
②		〇〇病院 転院	入院10日後のMRIにて脳室拡大が認められ、水頭症が判明。 〇〇病院に転院して、VTシャント造設 意識緩やかに回復。全身状況も落ち着き、人工呼吸器管理をはずす。
③		〇〇センター リハビリ	入院1か月後、脳波にててんかん波がみられる。 入院2か月後、経口摂取にて誤飲の危険性があるため、胃ろうを造設する。
④		〇〇病院 入院	退院2か月、上下肢の動きは少しずつ回復しているが、座位保持は出来ず、体位変換も自力では出来ず、地域でリハビリを開始する。
			自宅にて黄色分泌物が増量、呼吸停止し、救急搬送。 肺炎をひきおこし、再度呼吸器管理となる。 治療にて人工呼吸器ははずれるが、自力での喀痰が困難なため、気管切開は閉じずに退院。

※病気や障害の特性について あまり認知されていないような場合は、書籍・インターネットの資料をつづておく

3. 特に気をつけてもらいたい「症状」と「その対応」

症状 (けいれん発作、ショック、アレルギー 等)	対応 (体位、薬品使用、観察ポイント 等)
(1) けいれん発作 上肢内転（手を内側に向け腕をのばす） 全身伸展（のけぞる）	パルスオキシメーターを装着。血中酸素飽和度 85 以下持続、顔面 着白で2ℓ酸素投与。気切フィルターを酸素チューブに換え持続する。 左記のけいれん以外の場合は、全身の動き、継続時間を観察。 (携帯等で録画できる場合は録画する) 30分以上けいれん持続した場合、座薬（薬品名）を挿入し、 すぐに〇〇病院に連絡。連絡がつかない場合は救急搬送。
(2) 呼吸回数増加 ぜい鳴の有無 気管内分泌物の色が透明以外	パルスオキシメーターを装着。血中酸素飽和度85以下が30分以上 持続し、血中酸素飽和度85以上の上昇がみこまれない場合、 もしくは呼吸停止が起きた場合はすぐに救急搬送。 呼吸停止の場合は、救急車が到着までの間は酸素を流しながら バギング開始。
(3) 経口摂取時、むせた場合	直ちに摂取中止。顔色が悪い場合は口腔内吸引。口腔内貯留物を 除去しても呼吸状態改善しない場合は、気管内吸引。

4. アレルギーについて

項 目	有 無	程 度	因 子	寛解した時期
				年 齢
食 物	有 ・ 無	アナフィラキシーショックを起こす		
		除去にて安定	卵	3歳児まで
		症状 呼吸器、消化器、粘膜 その他		
		摂取可能		
食 物 以 外	有 ・ 無	症状 軽度湿疹 その他		
		アナフィラキシーショックを起こす	アスピリン系の薬剤	
		除去にて安定		
		症状 呼吸器、消化器、粘膜 その他		
		摂取可能		
		症状 軽度湿疹 その他		

Ⅲ-2

医療的ケアシート

1. 医療的ケア項目 氏名

	実施	頻度	医療状況とケア内容	実施	頻度	衛生管理・器具管理
栄養			① 経鼻経管（栄養・水分）			経管水分注入
	◎	朝昼夕	② 胃ろう（栄養・水分）	◎		胃ろう水分注入
			③ 腸ろう（栄養・水分）			
			④ 輸液管理（中心静脈栄養）			ライン交換
	○	朝・夕	⑤ 経口練習			
排泄			⑥ ストーマ装具（人工肛門排泄）（人工膀胱排泄）			ストーマケア（肛門・膀胱）
			⑦ 摘便 浣腸（薬品名： mL）			
			⑧ 自己導尿（見守り 一部介助）			
			⑨ 導尿全介助			
			⑩ 留置バルンカテーテル			
			⑪ 膀胱ろう			
呼吸			⑫ 人工呼吸器使用			呼吸器作動チェック
			⑬ 酸素吸入 ℓ （状況：常時、一時的）	○		気管切開部（消毒 交換）
			⑭ 持続的気道陽圧法 （CPAP、DPAP、BiPAP、その他）			
	◎	ぜい鳴時	⑮ 吸引（エアウェイ、気管カニューレ内）			チューブ消毒
	◎	随時	⑯ 吸引（口腔、鼻腔）			
			⑰ 吸入（生理食塩水、薬品名：）			
			⑱ 排痰補助装置 （カフアシスト、その他）			
			⑲ 体位ドナレージ			
与薬	◎	3回/日	⑳ 内服薬（定時薬 頓服）			
			㉑ 外用薬（塗布部位：）			
			㉒ 点耳（ ）点鼻（ ）点眼（ ）			
			㉓ 坐薬の挿入			
その他			㉔ ペースメーカー			
			㉕ 人工透析			

2. 1日の医療的ケア 支援内容

記載年月日

年

月

日

記載者

氏名

続柄

時間	主 な 介助者	ケア項目 (番号か名称)	薬品名 量	方 法	注 意 点
6:00 起床時	母	気管内吸引		8Frカテーテル 約〇〇cm挿入	口腔内用と気管用チューブは 分ける
7:00		経口摂取	ひと口	ペースト状をスプーンで ひと口 経験する 全介助	
:		経管栄養	経管栄養剤300ml	胃ろうより、1時間で注入する	
:					
朝食後 :	〇〇支援学校	内服	抗けいれん剤	食後、白湯20mlに混ぜて、 胃ろうより注入する	
12:00		経口摂取	ひと口	ペースト状をスプーンで ひと口 経験する 全介助	
:		経管栄養	経管栄養剤300ml	胃ろうより、1時間で注入する	
:					
昼食後 :	デイサービス	内服	抗けいれん剤	食後、白湯20mlに混ぜて、 胃ろうより注入する	
:					
16:00		気管内吸引		8Frカテーテル 約〇〇cm挿入	
17:00		経管栄養	経管栄養剤300ml	胃ろうより、1時間で注入する	
:	母				奇数月は薬品使用し吸入
21:00		吸入	〇〇剤 〇〇ml	〇〇分位薬剤がなくなるまで 気切部から吸入	
:		気管内吸引		8Frカテーテル 約〇〇cm挿入	
23:00		経管栄養	経管栄養剤300ml	胃ろうより、1時間で注入する	
:		内服	抗けいれん剤	食後、白湯20mlに混ぜて、 胃ろうより注入する	
:					